



Kの昇天
或いは桜の木の下における
Kの転落死

原作・梶井基次郎

『Kの昇天―或はKの溺死』
『桜の木の下には』

作画・吉田 凌

桐生が死んだ

校舎の屋上から
飛び降りて
満開の桜の下に
落下して

桐生はなんで
死んだんだろう

ずっと
普通だった
のにね

金持ちで
成績優秀でさ

家庭が
複雑だった
らしい

どうした
んだろう

あの子
桐生くんのこと
好きだったのに

何があった
んだ？

そーいや実家の
会社が倒産
しそーだとか

私は不治の
病だっけ聞いた
ことあるよ

遺書も
見つかって
ないん
でしょ？

みんなが桐生の
自殺の理由を
詮索し推測する中
俺は思ったのだ

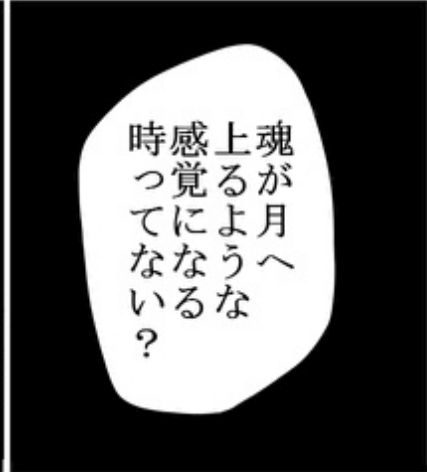
桐生は月へ
登って
しまったんだ





どうしたんだよ
いきなり…

頭おかしく
なつたんじゃないの？



魂が月へ
上るような
感覚になる
時ってない？



あはは
そうかも
知れない

月の綺麗な夜
自分の影を
眺めると
そういう気分
になるんだ

まるで魂が
天まで浮かび
上がって
いきそうになる

それは
あの日の
桐生の言葉

でも月まで
行けないんだ
途中で
落っこち
ちゃう



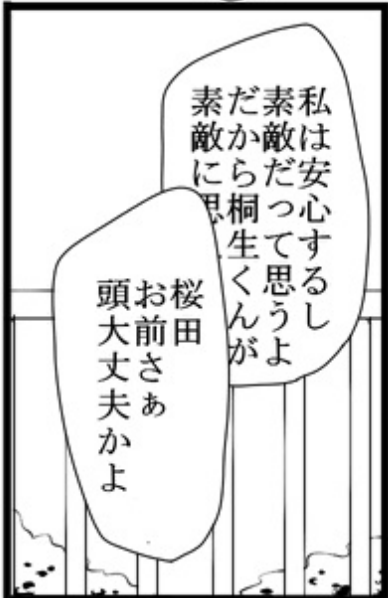
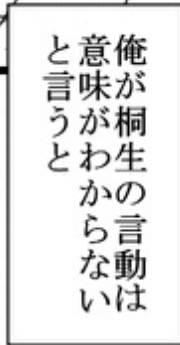
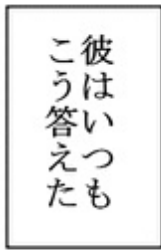
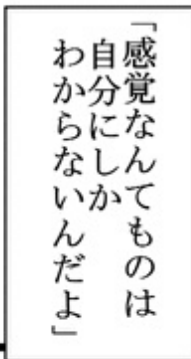
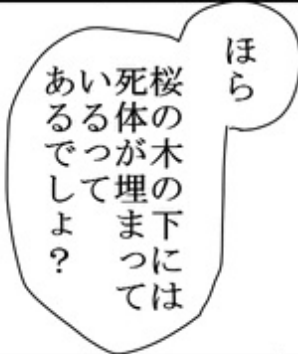
香椎くんは
いつも桐生くんと
屋上にいたでしょ？

だから何か
知ってるんじゃないか
かと思ってる

桜田は
俺にそう言った

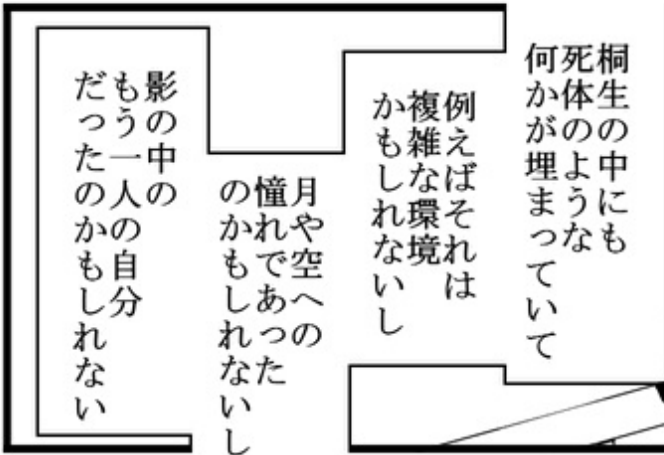
桐生の死について
知りたいのだと

…知ってる
っていうか





桜の木の下には
死体が
埋まっている



…ごめん

桐生の中にも
死体のような
何かが埋まっ
ていて

例えばそれは
複雑な環境
かもしれないし

月や空への
憧れであつた
のかもしれないし

影の中の
もう一人の自分
だったのかもしれない



…なんで
桐生くんだり
死んだらうね

俺は
推測は
できない



昔影絵に
感動したんだ



すごく
綺麗だった

この屋上からは
校庭の桜が
見渡せるんだ

へえ
あんたは桜を
見に来たのか？

いや
違うよ





桐生は

桐生は月へ行ったんじゃないかね

あの満月の夜
もう一人の自分
つまり影は
とうとう桐生の体を
手に入れた



そして月を目指す

しかし体は天へ上ることができず

そう月影に

影に乗って取られて

月？



香椎くんこそ頭大丈夫？

体は地面へと墜落し魂は月へと昇天していく

…どうだろうな



桐生
お前は



ラジュールグの詩
『月光』にこんな一節がある

「哀れなるかな イカルスが 幾人来ても 落っこちる」

体は桜の木の下へと
墜落したけれど
魂は月へと飛翔した

とうとう月世界へ
行ったんだな

俺は
そう思うことにするよ

終